

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成31年4月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①～②、図2）

監視カメラによる観測では、F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図1-③、図3）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

25日00時18分頃にアトサヌプリの西約6 km付近でマグニチュード2.3（暫定値）の地震が発生し、弟子屈町サワチサップで震度3を観測しました。今回の地震の震源付近では、過去にも同規模の地震が時々発生しています。この地震の発生前後でアトサヌプリの火山活動に変化は認められませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図1-④～⑤）

火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

次回の火山活動解説資料（令和元年5月分）は令和元年6月10日に発表する予定です。

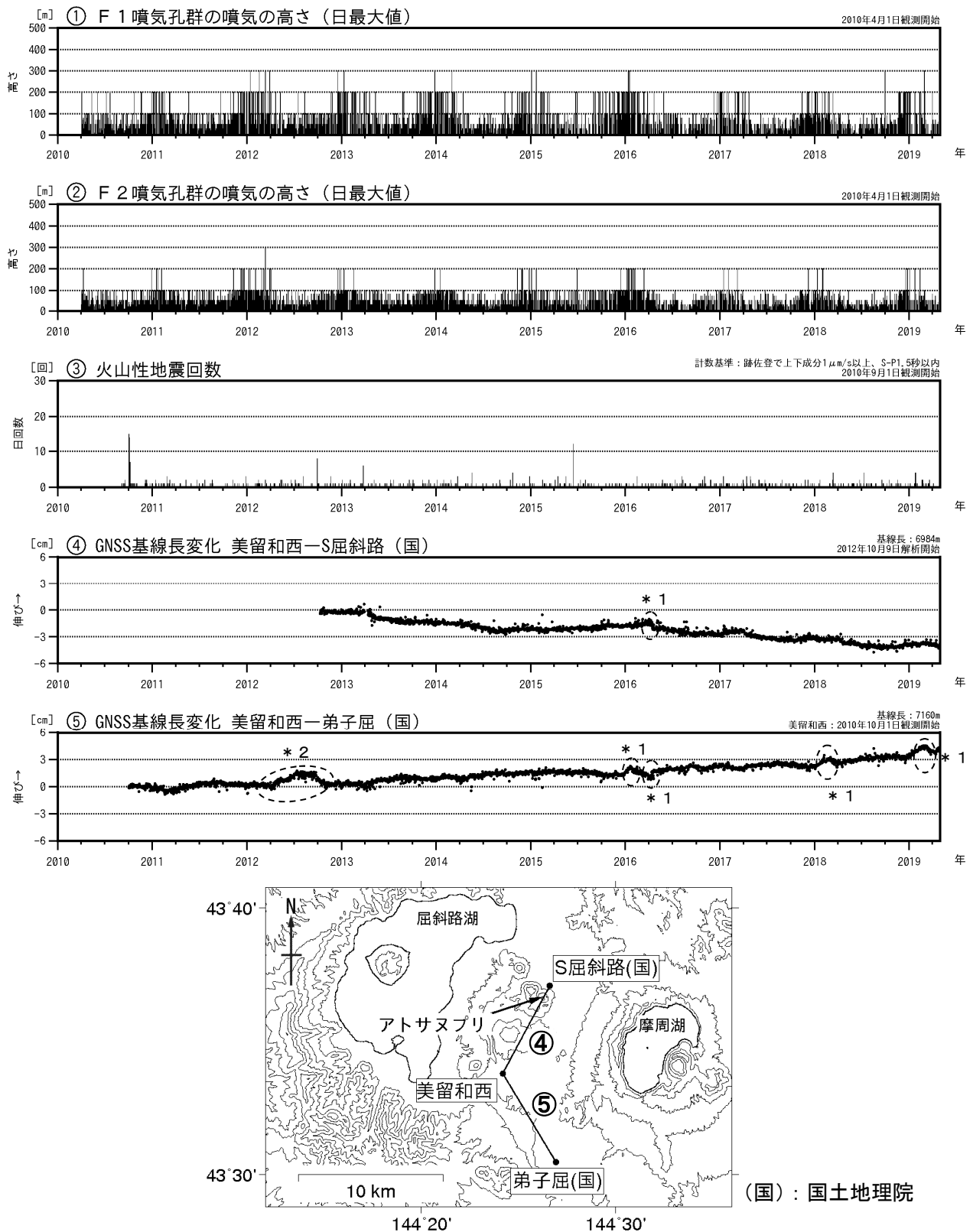


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図（2010年4月～2019年4月）及びGNSS連続観測点配置図

④⑤のGNSS基線は観測点配置図の④⑤に対応しています。

GNSS基線の空白部分は欠測を示します。

- ・④⑤の黒破線円内の変動（* 1）は、美留和西観測点の局所的な動きによるもので、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・⑤の黒破線円内の変動（* 2）は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採（2012年9月下旬）によるものです。



図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(4月23日、北東山麓監視カメラによる)

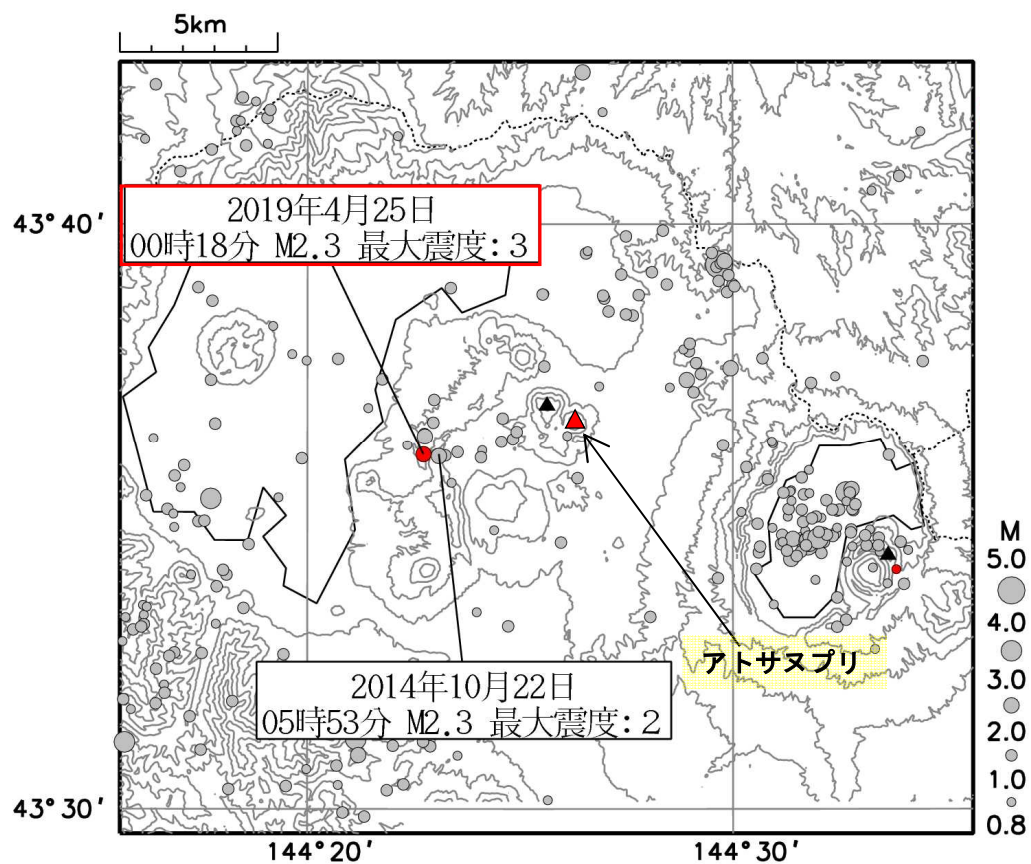


図3 アトサヌプリ 広域地震観測網による山体周辺の地震活動
(1997年10月1日～2019年4月30日、マグニチュード ≥ 0.8 、深さ30km以浅)
2019年4月に発生した地震を赤いシンボルで表示しています。

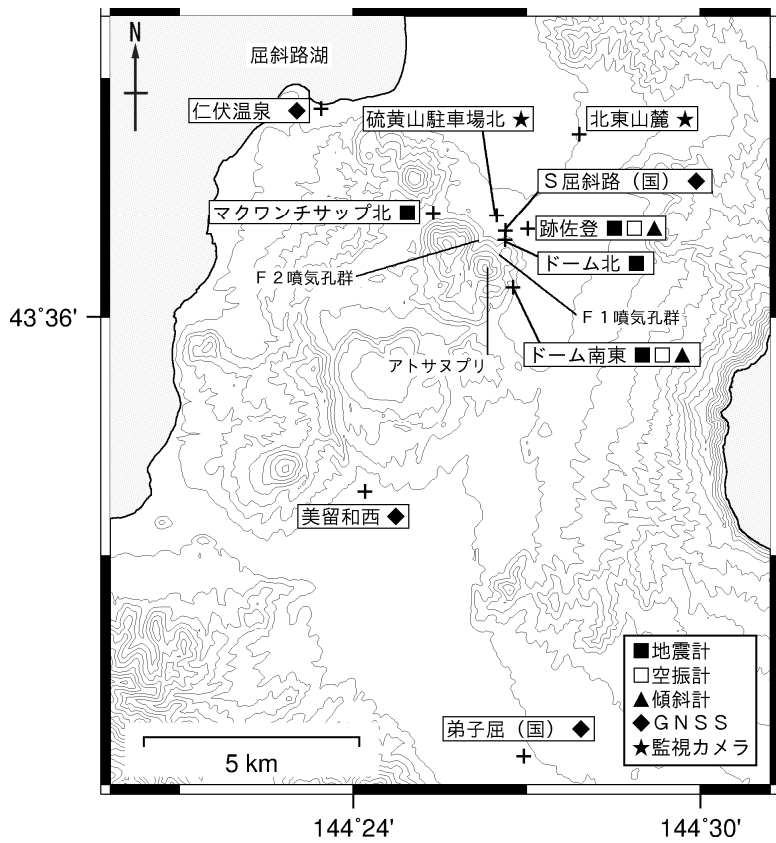


図 4 アトサヌプリ 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国) : 国土地理院